

最上町立向町小学校 P T A

<基礎情報>

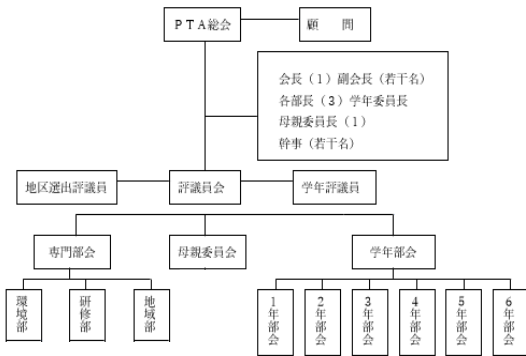
所在地

山形県最上郡最上町大字向町869番地の1

全校児童数

218名

組織構成



地域の特徴

最上町は山形県東北部に位置し、秋田県と宮城県に隣接している農林業と観光の町である。緑濃い山々に囲まれ、幾筋もの清流が流れる山紫水明の里・最上町は、長い歴史と文化、町を愛する多くの人々の知恵と汗に支えられて今日を迎えている。現在は大学との連携のもと、世代間の交流を通じて地域への愛着を育て、魅力あふれる人・物・文化を積極的に情報発信している。

学校の特徴

令和4年度に創立150年を迎えた向町小学校は、平成24年から令和2年までに町内6小学校が統合し、最上郡内で4番目に大きい規模の小学校となった。卒業生は約6000名を数え、最上町を支える人材はもちろん、有名芸能人やスキーマのオリンピック選手など、全国で活躍している人材を輩出している。近年は児童数減少により各学年1~2学級であるが、地域の学校として生活科や総合的な学習の時間にふるさと学習を充実させており、地域の活性化にも大きく貢献している。

取組 1

コロナ禍に保護者の融和を！ ~学校統合直後にコロナ禍に見舞われた向町小PTA~

<キーワード> 学校統合/周年式典/地域に開かれた学校づくり

<取組概要>

令和2年春までに6つの小学校が向町小学校に統合したことによって、本校PTAも一体化したが、ちょうどコロナ禍の時期と重なった。統合したての学校で子どもたちはもちろん、保護者も不安の中で学校生活が始まった。子ども達・保護者間の融和、地域間の融和を図るためにPTA役員編成・運営の工夫をするとともに、創立150年式典を開催した。

<取組の詳細>

- ・ 統合にあたってはPTA本部役員にできるだけすべての旧学区の保護者が割り当てられるように配慮した。旧学区代表として各旧小学校区保護者の声を本PTAに届ける仕組みを整えた。
- ・ コロナ禍のため、PTA総会は紙面総会となり、多くの行事が中止または規模縮小となり、PTA主催の懇親会も行われなかった。しかし、換気や消毒など三密回避等、感染症対策を万全にして各種行事を再開させてきた。特に運動会、スキー大会でPTAが全面的に協力し運営をした。
- ・ 創立150年式典では、計画段階からPTAが関わり、当日は式典や学習発表会の時間を区切って全PTA参加者を入れ替え、若い親世代にも母校や地域に対する思いをつなげる式典とした。



取組 2

学校・家庭・地域の連携を図り主体的に取り組むPTA

<キーワード> 生活リズム/メディアコントロール/安全点検/家庭の教育力/地域の教育力/

<取組概要>

統合を機に、PTAが協力して家庭の教育力・地域の教育力を高める取組を行っている。

- ・毎週水曜日はメディアコントロールデー
- ・地域の安全点検活動

<取組の詳細>

- ・町PTA連協とタイアップし、毎週水曜日はメディアコントロールデーとし、下校後のメディアの使用制限、読書の奨励を行っている。中学校の定期テスト期間には小学校もメディアコントロールウィークとして、家庭を挙げて学びの雰囲気作りと生活リズムの取組を行っている。
- ・学区が広がり、下校後の遊びの範囲が広く、事故が心配である。PTAが子ども110番の継続確認・依頼を奇数年度に行っている。
- ・危険個所の把握を行い、危険個所マップを作成し、地域住民と共有している。



成 果

・統合前は6つの小学校だったため、保護者同士顔を合わせたこともない保護者も多かった。学校やPTAが地域から遠い存在になったと感じた保護者もいたはずだが、広く多様な保護者の声も本PTAに届けられ、コロナ禍であっても安心安全の学校運営につながった。

・もともと各旧小学校区ではPTAが学校を支えるという意識を持ち続けている伝統があり、役員の各種行事の参加、会員の授業参観等への参加が充実していた。感染が収束した時期を適切に判断し、活動を続けたことで、「おらだの子の活躍を支えるPTA」の意識が高まった。

・150年式典は参加したすべての子ども・親・地区住民にとって、統合した各旧小学校区を「自分のふるさと」と感じられる取組となった。記念誌は創立100年記念誌に掲載された記事や歴年のPTAだよりを掲載し、創立期から令和までの本校の状況を伝える貴重な資料となった。また、記念誌の原稿は歴代PTA役員や地域の住民に寄稿いただくことで、先輩PTAの想いを現役親世代へつなぐ記念誌となった。

・PTAのOBや子ども110番の見守り隊活動に支えられ、PTA地域部の挨拶運動や各地域の危険個所に即した自転車教室も盛況であった。子どもたちの元気な姿が地域全体を明るくするのだという意識が保護者や子どもたちにも広がっている。

課題や今後の取組

・本校においても、児童減少に伴うPTA数の減少が顕著である。保護者間の繋がりを維持しながら、PTA活動を充実させるためには、持続可能なPTA組織作りが重要である。その方策を検討していく。

・メディアコントロールは家庭によって取組に温度差がある。令和5年度にはPTA研修部主催の教育講演会「メディアが子どもの脳に与える影響」を実施した。引き続き、町の取組みと連携して、メディアコントロールに取り組んでいく。

・保護者が同じ気持ちを持ち、「声かけよう よその子 うちの子 地域の子」を合言葉に、地域の子にも互いに注意し合えるPTAの関係づくりを進めたい。

